

令和元年第14回教育委員会議事録

項 目	内 容 記 録
1. 期 日	令和元年12月4日(水) 9:30 開会
2. 場 所	日野町役場 第1会議室
3. 開会(閉会)	9:30~10:30
4. 出席委員等氏名	頭本元文、景山美由紀、飯田頼昭、松田暢子、生田 進
5. 教育長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課長は「きらり創生戦略」会議のため欠席。</li> <li>12/24 第6回校区審議会 学校のあり方提言の原案協議</li> <li>今朝の新聞記事 国語・読書力と学力の関係</li> </ul>
6. 教育長事務報告 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1) 行事等について 別紙① 説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>12/4 定例教育委員会</li> <li>12/6~8 公民館まつり</li> <li>12/8 生涯学習まちづくり大会</li> <li>12/13 保育所たのしみ会</li> <li>12/14 日野のまち つながりコンサート</li> <li>12/15 読む読むフェスタ</li> <li>12/21 日野高魅力向上・ふるさと教育協働シンポジウム</li> <li>12/24 第6回校区審議会</li> </ul> </li> <li>・(2) 一般報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 第18回町民ミュージカル <ul style="list-style-type: none"> <li>11/10 485名参加 24名出演</li> </ul> </li> <li>2) 人権啓発講演会及び第44回日野町人権・同和教育研究集会 <ul style="list-style-type: none"> <li>11/14 123名参加</li> </ul> </li> <li>4) 2019 ソフトテニス講習会 in 日野町 <ul style="list-style-type: none"> <li>11/23 日野郡小、中、高が参加 講師3名</li> </ul> </li> <li>3) 令和元年度第2回ふるさと教育推進協議会 11/18 資料1 <ul style="list-style-type: none"> <li>日野郡3町が連携してふるさと教育を行う</li> <li>会長 江府町 富田教育委員</li> <li>設置要綱 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1条 目的</li> <li>第2条 役割 各町は決定された事項を協議し実施する</li> </ul> </li> <li>変更予定</li> <li>事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>12/21 シンポジウム開催</li> <li>令和2年4月 開塾予定</li> <li>タスクスケジュール 令和元年度~令和2年度月</li> <li>事業予算 概要 P6</li> <li>公設塾についてのアンケート結果 P7</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

	<p>実態が見えないため、あまり必要感はない</p> <p>委員名簿 P8 事務局は江府町教育員会事務局</p> <p>12/21 シンポジウム「みらいにチャレンジ わが町の高校生」</p> <p>参加者 日野高校、広島県立大崎海星高校、島根県立津和野高校、鳥取城北高校、JK 課、南部町高校生サークル</p> <p>タイムスケジュール 12:30 開場 20:00 終了</p> <p>コーディネーター 作野教授</p> <p>パネリスト 岩本氏、藤岡氏、木田氏</p>
景山 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公設塾の開設は決まっているのか。</li> <li>・日野高双葉寮については、町としてすでに援助している。ふるさと教育公設塾については、日野町としてではなく、江府町町長が思いつかれたこと。鳥取県知事もふるさと教育には興味を示されていて、タイアップしようと日野郡3町も売り込んでいる。</li> </ul>
頭本 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと教育が学力向上なのか、目的をきちんとしないといけないと思う。中学生を対象にした方が成果がある。</li> <li>・江府町長はふるさとを大事にする高校生を育てたいという思いがある。中学生にはふるさと教育を行っているが、高校生には手つかずだった。</li> </ul>
松田 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度からも日本財団の補助はあるのか。</li> <li>・今年度1年間のみ。来年度からは3町で経費を負担していく。予算計上していかないといけないが、まだ案が煮詰まっていない状況。</li> </ul>
松田 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は日野町に最初公設塾を開設するという話だったが。</li> <li>・令和2年度は日野町山村開発センターに開設し、次年度からは江府町、日南町にも開設予定。3町長が決定されたことなので実施することは決まっている。</li> </ul>
景山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果によると、生徒も保護者もあまり関心がない。見切り発車してお金が無駄にならないか。</li> </ul>
頭本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生は何をやりたいかほぼ決まっているのに、どのようにふるさとに貢献できるよう教育するのか、難しいこと。</li> </ul>
景山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が関心があればよいが、アンケートだとそのように思えない。</li> </ul>
頭本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり費用対効果が望めない。費用をかけても受講者がなければ意味がない。するなら中学生の学力を高めつつ、ふるさとに帰ってくるような教育がよいと思う。日野町としてお金を出すならその方がよい。</li> </ul>
景山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成功例はあるのか。</li> </ul>

教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的にはある。アンケートは実態が見えない状況での結果なので、今後実態が分かれば変わっていくかもしれない。塾の中身についてはプリマペンギーノという会社が考える。具体的なことはまだ示されていない。</li> </ul>
景山教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は対象としないのか。</li> <li>・高校生のみ対象。</li> </ul>
長谷部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリマペンギーノという会社はもともと高校生を対象とした塾を実施している。高校での塾はしているが、3町で行うことは初めてなので難しいのかもしれない。</li> </ul> <p>日野町としては日野高校の魅力向上を目指し、日野郡はふるさと教育が目的であり、米子に出ている子たちに日野郡の良さを知ってもらって地元に戻ってほしいという思いがある。</p>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野高校魅力向上コーディネーターを現在2名置いている。ふるさと教育事業にも3町が負担してコーディネーターを置く必要があり、3町長の話では条件付き合意となっている。ただ日野高校コーディネーターが1人しかいなくなる。</li> </ul> <p>高校生の公設塾を開設する方向では進んでいる。</p>
頭本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野町としてどのような人材が必要か具体的に示して、それに特化した教育をするなら分かりやすいが、高校生の塾で何をするか着地点が見えない。</li> </ul> <p>奨学金を出して日野町に戻ってもらう方がまだよいのでは。</p>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、日野高校が課題別研究を行っていて、それに近い学習内容になると思う。</li> </ul>
長谷部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような子どもたちを育てたいのか、ワークショップで話し合ったり、担当者同士でどんな学習内容にしたらよいか討議してプログラム作成に向けて進んでいる。</li> </ul> <p>担当者はある程度見えているが、町民や子どもたちにはあまり伝わっていない。</p> <p>来年度は5人を目標に設定している。</p>
松田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者とは誰のことか。</li> </ul>
長谷部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町の担当職員と、高校の先生など。</li> </ul>
松田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塾講師は各町で募集するのか。</li> </ul>
長谷部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3名を各町で募集する。</li> </ul>
景山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野高校に公設塾を開設するのは分かるが、3町で実施するのは無理があるのではないか。</li> </ul>
松田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野高校の課題学習はカリキュラム内で行っているが、この事業はカリキュラム外なので学校としての評価に繋がらないため成果があがらないと参加が難しいと思う。</li> </ul>
長谷部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は学力をつけることを目標とし、次第に基礎学習からふる</li> </ul>

<p>頭 本 松 田 頭 本 教育長 長谷部 教育長 長谷部 景 山 教育長</p>	<p>さと学習の割合を増やしていくと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塾というと上級学校への進学を目指すことが多いので中身が違ってきて対応が難しくなるだろう。</li> <li>・学力向上のための塾だと他との違いがないので、それ以外の魅力がある塾にする方がよいのでは。</li> <li>・進学塾でもランクがあるが、中途半端な塾になって身にならないのではないかな。</li> <li>・塾と言っているが本当は「学習グループ」「探求グループ」といったものである。進学塾ではないところを目指している。</li> <li>・最初に塾の名前を決めることから始め、分からないことを自由に聞ける基礎学習をすることになると思う。 平日は学校終了後になるため、休日に地域の方とワークショップを実施したりすることもできる。</li> <li>・まずは高校生の居場所づくりから始めてみる。</li> <li>・月 5,000 円で自由に通ってよい。</li> <li>・保護者が、わが子を通わせたいかを考えてほしい。</li> <li>・最初から魅力はこうだと言えないものだと思う、3年経過して親が通わせたいと思ってくれたらいいなというスタート。 知事もふるさと教育に関心があり、県もキャリアパスポート事業を始めようとしている。</li> </ul>
<p>7. 議事 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第 57 号 令和元年 12 月 7 日付人事異動について 12/7 図書館司書の産休による嘱託員雇用 12/16 まで 藤原智子 継続雇用予定</li> <li>・議案第 57 号承認</li> <li>・議案第 58 号 令和元年度日野町一般会計補正予算の提出について 令和元年度日野町一般会計補正予算要求書（第 6 号） 歳入 町誌販売収入 歳出 隣保館嘱託館長分 減額 保育所非常システム取付修繕 増額 平成 30 年度子ども・子育て支援金返還金 増額 校区審議会委員旅費 増税による増額 印刷機点検委託料 増税による増額 公民館連絡車購入 増額 入学児童ナップランド 転入による増額 英語教室講師旅費 増税による増額 日野中体育館雨漏り・体育館床下通気口修繕 増額 文化センター冷蔵庫更新 2 台購入 3 台処分費 増額</li> </ul>

		<p>図書館司書嘱託員 3月報酬不足分 増額</p> <p>・議案第58号 承認</p>
8. 協議	<p>教育長</p> <p>飯田 教育長</p>	<p>・日野町男女共同参画推進委員会委員の推薦について 2年任期満了による交代 景山委員→飯田委員 会議 年2回程度</p> <p>・12/6～8 公民館まつり チラシ説明</p> <p>・高校生奨学金の申請実績は。 ・7～8割は提出されていると思う。1/31 期限</p>
9. その他	教育長	<p>・次回教育委員会定例会について 令和2年1月7日(火) 午前9時30分開会 第1会議室 (10:30 委員会終了)</p>

令和元年12月4日

日野町教育委員会